

2021 年度第 3 四半期決算説明資料

発表日時：2022 年 1 月 31 日（月）14:00（今回、説明会の開催はございません）

【2021 年第 3 四半期決算の概要】

- まず、パワーポイントのスライド 1 をご覧ください。
- 売上高は、新会計基準の適用などにより減収となりました。
- また、経常損益・四半期純損益は、グループ全社を挙げた収支改善に努めたものの、JERA における燃料費調整制度の期ずれ影響が悪化したことや、小売販売電力量が減少したことなどにより減益となりました。
- なお、2021 年度業績予想については、特別損失として、インバランス収支還元損失を計上したことなどにより、2021 年 10 月 27 日に公表した業績予想から修正しております。
- 具体的な連結決算の数字については、スライド 2 をご覧ください。
- 売上高は、前年同期比 14.6%減の 3 兆 5,035 億円、経常損益も 69.3%減の 722 億円となり、特別損益を加えた四半期純損益は、前年同期比 92.5%減の 98 億円となりました。

【セグメント別のポイント】

- スライド 4 と 5 では、各セグメント別の業績をご説明いたします。
- まず、東京電力ホールディングスの業績です。
- 売上高は、前年同期と概ね変動なく、6 億円増の 3,654 億円となりました。
- 経常損益は、基幹事業会社からの受取配当金の増加などにより、前年同期比 649 億円増の 720 億円となりました。
- 次に、東京電力フェUEL&パワーの業績です。
- 経常損益は、JERA において、前年同期における新型コロナウイルスによる影響の反動や、関係会社利益の増があったものの、燃料費調整制度の期ずれ影響が悪化したことなどにより、前年同期比 927 億円減の 93 億円の損失となりました。
- 続いて、東京電力パワーグリッドの業績です。
- 売上高は、託送収益が減少しているものの、他社販売電力料が増加したことなどにより、前

年同期比 437 億円増の 1 兆 3,361 億円となりました。

- 経常損益は、託送収益の減少や、設備関係費の増加などにより、前年同期比 200 億円減の 1,635 億円となりました。

- 続いて、東京電力エナジーパートナーの業績です。
- 売上高は、新会計基準の適用の影響などにより、前年同期比 7,233 億円減の 2 兆 8,909 億円となりました。
- 経常損益は、小売販売電力量が、競争激化や気温の影響で減少したことなどにより、前年同期比 503 億円減の 423 億円の損失となりました。

- 最後に、東京電力リニューアブルパワーの業績です。
- 売上高は、卸電力販売などの増加により、前年同期比 72 億円増の 1,172 億円となりました。
- 経常損益は、固定資産税の増加などにより、36 億円減の 405 億円となりました。

- なお、連結及びセグメント別の前年度比較資料をスライド 10 以降に参考として添付しております。

【連結特別損益の概要】

- 次に連結特別損益についてご説明します。スライド6をご覧ください。
- 特別利益に、原子力損害賠償・廃炉等支援機構からの資金交付金を 298 億円計上した一方、特別損失に原子力損害賠償費を 663 億円、インバランス収支還元損失を 163 億円計上いたしました。
- インバランス収支還元損失については、昨冬の電力需給ひっ迫に伴い、小売電気事業者が負担した 2021 年 1 月のインバランス料金のうち、一定水準を超えた部分について、2022 年 4 月以降の託送料金から差し引くことにより調整するもので、電力・ガス基本政策小委員会での議論・取りまとめ等を踏まえ、今回、計上するものです。
- これにより、特別損益は、前年同期から 426 億円好転し、528 億円の損失となりました。

【連結財政状態の概要】

- 続いて、連結財政状態について、スライド7をご覧ください。

- 自己資本比率は、前年度末より 0.5 ポイント悪化し、25.3%となりました。

これは、四半期純利益の計上などにより純資産残高は増加したものの、社債の発行などにより現金及び預金が増加したことなどで資産・負債残高も増加したことによるものです。

【2021 年度業績予想】

- 最後に、2021 年度の業績予想について、スライド 8 をご覧ください。
- 売上高は卸電力販売の増加により、2021 年 10 月 27 日に公表した見通しから修正し、2,010 億円増収の 5 兆 510 億円になる見通しです。
- 一方、経常損益の見通しは、燃料価格高騰に伴う、東京電力エナジーパートナーでの電気調達費用の増加などにより、30 億円減益の 160 億円の損失に修正しております。
- また、当期純損益の見通しは、インバランス収支還元損失を計上したことなどにより、250 億円減益の 410 億円の損失に修正しております。
- 当社は、今後も燃料価格の状況を注視するとともに、収支改善を目指すべく取り組んでまいります。

【参考資料 (スライド 9 以降)、補足資料 (スライド 20 以降)】

- スライド 9 以降は参考資料および補足資料です。

以 上